

# 『ナホトカ』号重油流出事故発生から6か月間の記録

Six-month history after the 1997 accident of heavy-oil spill from Russian Tanker “Nakhodka”  
:a review of newspaper documentation

藤井 純子\*

(福井大学教育学部地学教室)

## 1. はじめに

1997年1月2日未明、隠岐諸島の北東約140km付近(北緯37度14.4分, 東経134度24.9分)でロシア船籍タンカー『ナホトカ』号(13,157トン)が浸水、沈没した。これに伴い積載していた約1万9000キロリットルの重油のうち約6200キロリットルが流出し、日本海を漂流。冬型の気圧配置による強風のため日本海沿岸の7府県に漂着し、重大な被害をもたらした。大量の重油とともに船首部分が座礁した福井県でも、沿岸12市町村の海岸ほとんど全地域に重油が漂着し、海上保安本部・自衛隊のほか多くの地元住民やボランティアによる懸命な回収作業が続いた。

この事故は自然災害とはいえないが、事故が悪天候の中で発生し、重油が当時の気象条件により漂着したことを考えると、全く関係ないわけではない。そこで本報告では、事故発生から6月末までの6か月間の経過を一通りまとめることにした。事故の映像や専門的な調査結果などは報告書や新聞社等が発行する記録集に委ね、ここでは重油の漂流・漂着状況や対策、補償、漁業・観光への影響などについて新聞記事からデータを収集し、経過をまとめた。

## 2. データの収集および採録方法

今回収集したのは、主に福井新聞と朝日新聞である。1月分については、福井新聞、朝日新聞、中日新聞、毎日新聞、赤旗などから重油事故関連記事を抜き出し収集してみたが、表現の差はあるものの、海上保安庁発表や記者会見などの情報源は基本的には同一であるので、記事内容に大差はなかった。そこで、地方紙として福井新聞、全国紙として朝日新聞から記事を収集することにした。

なお、本報告は福井県を中心にまとめたものであり、福井県外の情報は全国版に掲載される記事からのものに限られる。また、新聞により数値データなどが多少異なる場合があるが、できるだけ他の新聞と一致している数値を採用し、照合できないものについては数値の多い方を採用した。

## 3. 表の見方

事故発生からの経過は、基本的には時間を追って表形式に記録した。しかし、状況は日々変化するものであり、6か月間の経過を記録する表の形態を一定に保つことは難しい。例えば、漂流・漂着状況や船首部分からの重油抜き取り作業については気象条件に大きく左右されることから、当時の気象状況の記録も表に記載した。しかし、回収が進んで重油の漂着が少なくなり、船首部分からの重油抜き取り作業が終了すると、気象状況を記載する意味はなくなる。また、新聞記事からのデータということもあって、項目別にすると、日によって大きな偏りがみられ、記事の内容も週を追ってどんどん変化してくる。そのため、表は事故発生から3月末までは1週間分を1～2ページにまとめてあるが、

(キーワード：日本海、重油事故、新聞記事、経過)

---

\* Junko Fujii

(Geological Laboratory, Fukui University)

各地で災害対策本部が解散され始めた4月からは週ごとに区切った大まかな表になっている。また、表の項目も週ごとに異なることを記しておく。

表の作成にあたって、各項目は次のように記載してある。

天気：福井新聞の天気予報から概況を抜き出した。データがない日は新聞休刊日である。

風、波：( )内は福井新聞から抜き出した福井県嶺北地方の予報である。( )に入っていない数値は新聞記事から抜き出したもので、船首部分周辺での値である。

重油の漂流・漂着状況：場所(地点)を示す部分にアンダーラインを引いた。地名については、県名がわかるように記載したが、福井県内の市町村には県名を付していない。ここに記載した地名の位置を図1および2に示す。

重油の回収状況：重油回収量については、特に記載がない場合、福井県内での総回収量である(朝日新聞の福井版に掲載)。この中には、海水・砂なども含まれる。

4月以降の表では、主な動きについて船首部分・仮設道路撤去および重油回収作業、福井県および県内市町村や国の対応、補償関係、その他の順に記載してある。

## あとがき

本報告は新聞記事から抜き出したデータを集めたものであり、一貫性がなく雑多な記事の寄せ集めであることは否めない。例えば、ある会議がいつ発足し、どのように会議が進み、何を決定し、実行し、いつ解散したのかなどの流れはなかなかつかみにくい。新聞では、記者または新聞社が掲載するに値すると判断した断片的なものしか得られないからである。しかし、発表された事実や取材した状況などが客観的に把握できる点では評価できる。災害は時が経つにつれその記憶も風化してしまう。当時の記録も散逸し、データを収集するのが困難になってくる。ただ経過を綴っただけの報告ではあるが、将来起こりうる災害に備えるために少しでも役立つことができれば幸いである。

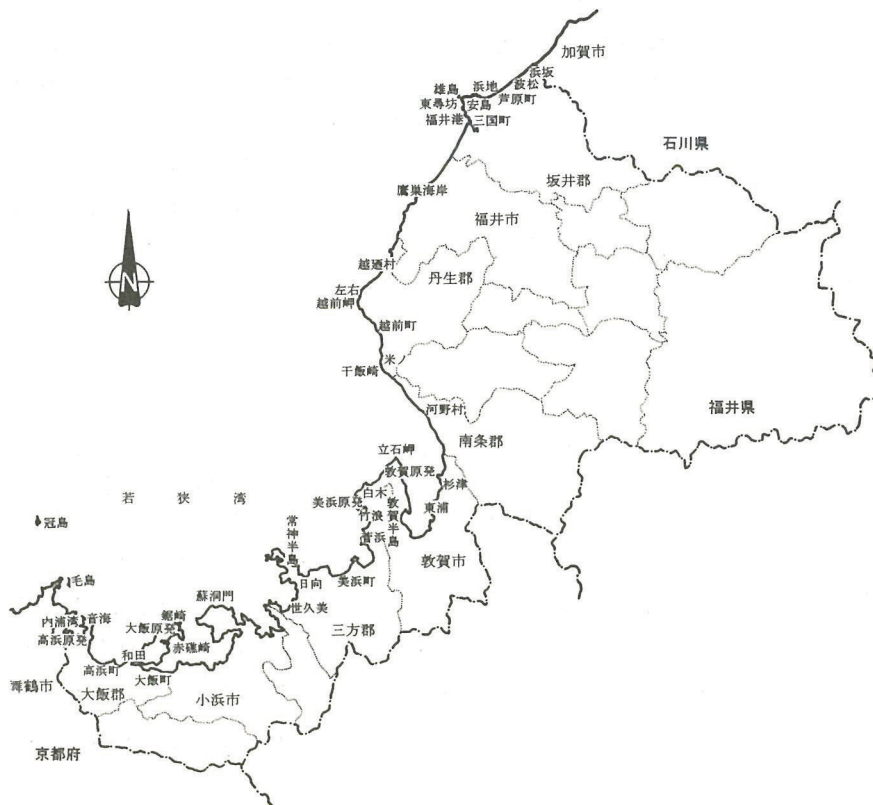


図1 福井県内で重油が漂着した主な地域・地点



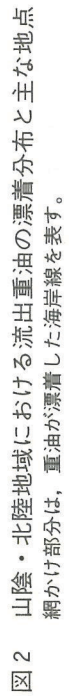


表1 重油流出事故発生から6か月間の経過

H9.1.2		1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8
天	...	大陸の高気圧が日本付近に張り出し、西高東低の冬の天気が続く。	日本付近の等圧線の間隔が開き、大陸の高気圧の一部が移動性となり西日本を覆う。冬の気圧配置が西から緩む。	移動性の高気圧が、北から本州付近を緩やかに覆う。九州の南海上や東海に次の低気圧が進み、西から気圧の谷に入る。	本州南岸の低気圧が東北の南部沖に進む。日本海北部の低気圧は停滞。本州付近は深い気圧の谷に入る一方、大陸の高気圧が張り出す。	大陸から高気圧が張り出し、冬の気圧配置。強い寒気が南下。	大陸の優勢な高気圧が日本付近に張り出し、西高東低の気圧配置に。北陸上空に強い寒気が入り込み、冬の気圧配置が強まる。
風	...	(北西、強い)	(北のち北東)	(南東、やや強い)	(西のち北西、強い)	(南西のち北東)	(北、やや強い)12-15m/s
波	...	(6mのち5m)	(5mのち3m)	(2.5mのち2m)船首周辺2.5m	(4m)重油周辺4-5m	(6mのち4m)船首周辺6m	(3m)
重油の漂流・漂着状況	・隠岐島の北北東約110km船体の重油を複数確認。	・経ヶ岬の北約113km水没地点から3日に湧き出した重油は、幅50km長さ106kmに拡散。新たに湧き出した重油は幅約2km、長さ35kmに広がる。	・経ヶ岬の北約200km水没地点から3日に湧き出した重油は、幅50km長さ106kmに拡散。新たに湧き出した重油は幅約2km、長さ35kmに広がる。	・重油は経ヶ岬の北西約70kmから兵庫・鳥取県境にかけて、長さ約100-200kmの帯となり、時速1-2kmで南東に流れる。	・丹後半島の北方に重油の塊2つ漂流。	・隠岐島の沖約100km東から南にかけて半径200km以上の海域に、多数の油群が漂流。	・隠岐島の東に油塊、南下。香住町の沖北5km、3つの大きな油塊が南下。経ヶ岬の北約33kmに油塊。若狭湾に向かう。直径1-5mの重油が点在。東側に南北に10km以上続く浮遊油。
	・避難現場の東約85km船首部分を確認。	・経ヶ岬の北約90km船首部分と重油が東進。重油は船首部分を中心、に約9kmに点在。	・船首部分を中心、重油が半径約10kmの円状に広がる。	・船首部分は、東南から北に進路を変えた(対馬海流のため)が、強風により漂流からはずれ、沿岸より漂流。	・三國町安島岬の東北東約32km	・安島岬沖約13km船首部分確認。西風のため東北東へ2-3m/sで流される。船首から濃い油膜が東へ帯状に伸びる(0:00)。	・安島岬沖約5km北よりの風に変わり、船首部分が芦原町より南下。双眼鏡で確認(9:00)。
	・福井港の北西約137km重油の先端を確認。(午後)	・福井沖の北西約110km重油の先端が接近。(12:00)	・福井港の北西約78km重油の先端が接近。(8:00)	・福井港の北西24km船首部分確認(19:00)重油の先端が接近。(23:00)	・船首部分の周囲に、幅50m、長さ500mの重油。西風に伴い沿岸部に近づく。	・船首部分を陸上から確認(正午前)。	・建島船首部分確認。西風のため東北東へ2-3m/sで流される。船首から濃い油膜が東へ帯状に伸びる(0:00)。
・福井市鹿島海岸海岸約3kmに渡って直径数mmの粒状、カー状の重油が漂着。							
・福井港の南防波堤に沿って油膜の帯が港内に侵入。							
・三國町米ヶ岬薄い油膜が海岸線附近に迫る。							
・安島岬付近三國町岬から東粁坊周辺まで重油漂着。岩場に打ちあがったカー状の重油の厚さは20cm。							
・芦原町重油が漂着。							
・加賀市の海岸、安島岬の北東約15km厚さ5-10cmの重油が約4kmに渡り転々と漂着。							
・石川県沖船首部分に先行して流れていった2つの油塊が接近。6つの油塊は能登半島沖へ。							



1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8
<p>057船籍の『ナホトカ』号が浸水、沈没。</p>					<p>三国町安島の雄島付近に重油が漂着。船首部分には安島沖150mで盛礁。</p>	
<p>・『ナホトカ』より、浸水したとの緊急連絡(2:51)。 ・乗組員捜索、31人救助。</p>	<p>・船長の捜索。 ・京都府、福井県、福井県内漁協に「重油漂着の可能性有り」と通知。</p>	<p>・「ナホトカ」号海難・流出油対策本部」設置。 ・巡視船に油回収船『清龍丸』の出動を要請。</p>	<p>・巡視船より792リットルの処理剤散布(8:00)。 ・運輸省に油回収船『清龍丸』の出動を要請。</p>	<p>・海上自衛隊に災害派遣を要請。 ・船首部分の沖への曳航、重油の除去作業を断念。 ・海上自衛隊が護衛艦2隻を現場に待機。荒天のため処理剤散布中止。</p>	<p>・海上自衛隊に災害派遣を要請。 ・船首部分の沖への曳航、重油の除去作業を断念。 ・海上自衛隊が護衛艦1機と護衛艦2隻を派遣。</p>	<p>・処理剤の散布と重油の拡散、すくい上げなど。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船『清龍丸』が境港を出港。油を回収しながら福井港へ。 ・浮遊油の移動予測を公表。</p>
<p>第八管区保安本部</p>		<p>・「ナホトカ」号海難・流出油対策本部」設置。 ・情報収集と漂着に備えた備品の確保。24時間体制で警戒。職員を保安本部に派遣。</p>	<p>・「ナホトカ」流出事故連絡会議」(ナホトカ)流出事故市町村・消防関係会議」開催。 ・取締船など2隻を出動、重油の監視と潮流の方向の観測。 ・オイルエンスなど確保。</p>	<p>・「庁内連絡会議」開催。県独自で1日2回パトロール。資料の確保。 ・土本部が「部内連絡会議」設置。 ・芦原町浜坂漁港にオイルエンス設置(23:40)。 ・沿岸を巡回。機材の手配(三国町消防署)。 ・「庁内連絡会議」開催(福井市)。</p>	<p>・「災害対策本部」設置。 ・沿岸4市町村と漁協との合同会議開催。 ・雄島港、雄島周辺、北潟湖河口にオイルエンス設置。 ・知事がいり現場視察。 ・梅井港漁業事務所「重油事故現地対策室」設置。 ・三国町が「災害対策本部」設置。</p>	<p>・災害対策会議開催。 ・取締船など2隻を若狭湾に派遣。油の動向を監視。 ・海浜公園に「現地事務所」を設置。 ・重油の一時保管場所としてに大穴の掘削を開始(ナホトカ)梅井)。 ・「災害対策本部」会議で人力による重油の回収を決める(三国町)。 ・福井市長が現場を視察。 ・「事故対策本部」設置(越前町、越前村、河野村、高浜町)。</p>
<p>福井県・県内市町村</p>				<p>・沿岸部の市町との連絡会議開催(石川県)。 ・徹夜態勢で沿岸部のパトロール(石川県加賀市・小松市)。</p>		<p>・オイルエンス設置(石川県内の原発)。</p>
<p>他 県</p>						
<p>油回収など</p>					<p>・「ナホトカ」流出事故水産連絡会議」設置(県内21漁協)。 ・安島、崎、堀漁港にオイルエンス設置。</p>	<p>・三国町安島、ヨットハーバーで重油回収作業。 ・「県漁協被害対策本部」設置。 ・石油連盟油濁対策本部が大規模回収装置・オイルエンス・回収船などを派遣。油の回収開始。龍崎。 ・環境庁が調査官を派遣。</p>
<p>その他</p>		<p>・福井県内の原発がオイルエンス用意。</p>	<p>・福井県内の原発パトロール強化。 ・船首側がナホトカ船を派遣。</p>	<p>・政府が油汚染対策の連絡会議開催(18省庁の課長級)。 ・鳥取県日野川河口(のねが)が油で汚染。 ・重油で汚れた水鳥の保護を決める(福井県)。</p>	<p>・政府連絡会議開催。</p>	<p>・ナホトカが回収作業に参加。 ・機材金受付口座開設(三国町災害対策本部)。</p>
<p>環境への影響</p>			<p>・鳥取県天神川河口(のねが)が油で汚染。</p>	<p>・鳥取県日野川河口(のねが)が油で汚染。 ・重油で汚れた水鳥の保護を決める(福井県)。</p>	<p>・鳥取県日野川河口(のねが)が油で汚染。 ・鳥取県東部の3海岸(のねが)が油で汚染)。 ・3団体と県が共同で救護・監視体制。(福井県)。</p>	<p>・三国町安島金沢市、加賀市、羽咋市(のねが)が油で汚染。 ・福井県環境科学センターが大規模汚染測定車で観測、異常なし。</p>

[illegible]



1. 9	1. 10	1. 11	1. 12	1. 13	1. 14	1. 15
・福井・三国沖と京都府丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船「艇10隻、ヘリ、漁船など」でイノエタ敷設、処理料配布。重油の除去作業。 ・船首部分に潜水。水中から油回収。難航。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・油回収船石川県沖で回収。 ・海上保安庁長官が海上災害防止に緊急措置を指示(海洋汚染、海上災害防止法に基づく)。国の責任で重油除去。防除対策。重油抜き取り準備開始。 ・海上自衛隊員が堤島沖400m付近で重油回収。 ・重油の一時保管。増設。 ・三国町議会が「リカ・重油流出事故対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・福井市の消防員、鯖江市の消防員も回収作業に協力。	・油抜き取り準備作業、荒天のため中止。 ・油抜き取り用の仮設道路工事が始まる。 ・沈没時に流れ流した重油は約5000tと推定。 ・沈没船体から流出した重油に測量船を派遣。 ・高浜町沖で巡視艇4隻が重油回収。 ・知事が大阪府、高浜町、小浜市などを視察。 ・知事が7月7日大使と会談。漁業被害や回収費用の保証と保険金調達の確保を要請。 ・流出油の環境への影響を総合的に調査するための「リカ・油流出事象対策協議会」を設け、重油の回収作業に協力。 ・知事が犯者会見。国に強い支援を求める。
・福井県、三国町、丹波半島沖に2船隊を配置、漂流油に処理料配布。 ・船首部分に潜水調査。 ・油回収船が軽ヶ崎沖周辺で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖400m付近で重油回収。 ・陸上自衛隊員が重油除去作業。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・沈没地点裏の油塊処理のため大型巡視船を派遣。 ・安曇川で重油回収。 ・海上自衛隊掃海艇2隻が堤島沖で重油回収。 ・油回収船が「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。 ・伊賀県、岐阜県、愛知県、名古屋に「リカ・油流出事象対策協議会」設置。	・巡視船が沈没地点裏の油塊を処理。船首30隻、航空機4機で海上で重油回収。 ・船首部分の潜水調査。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。重油の漂流状況を調査。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。 ・対策本部が知事名で政府に重油回収の要請。	・船首50隻、航空機10機が海上で重油回収。沈没地点付近の油塊を巡視船が回収。難航。 ・船首付近に潜水調査。 ・油回収船が重油回収。難航。 ・関係機関合同会議開催。 ・船首部分撤去のための作業道建設。 ・沈没地点付近に流れ流した重油を回収。難航。 ・航空自衛隊に偵察機派遣。 ・重油の漂流状況を調査。重油		



	1. 16	1. 17	1. 18	1. 19	1. 20	1. 21	1. 22
天	大陸の高気圧の一部が移動性となり本州付近を覆う。弱い気圧の谷が伊予・九州から日本海にのび、午後北陸地方を通過。	気圧の谷が更に抜け、大陸の高気圧の一部が移動性となり日本南部を覆う。低気圧が中国東北区を更に進み、これに伴う寒冷前線が日本海をゆっくり南下。	低気圧が発達しながら日本海北部に進み、これから南西にのびる寒冷前線が、朝鮮に達する。	西高東低の気圧配置は一時的。西から等圧線の間隔が広がって冬の気圧配置が緩む。	日本南部は移動性の高気圧に覆われるが、日本海西部に覆う低気圧が日本海北部地方に近づく。	大陸の高気圧が張り出し、北陸の上空に強い寒気が入り込み、冬の気圧配置が一時的に強まる。	低気圧が日本東海上で発達。大陸の高気圧が張り出し強い冬の気圧配置に。北陸から東日本上空に非常に強い寒気が南下。
風	(南のち北西)	(北西のち南)	(南西のち北西、強い) 10m以上	(西、強い)北東の風3m	(西のち南西、やや強い)	(南西のち北、非常に強い) 25m/s	(北西のち北、非常に強い)
波	(1. 5m)	(1. 5m)	(3mのち2m)4mのうねり	(3mのち2m)3mのうねり	(2mのち2. 5m)	(4mのち6m)7mのうねり	(6mのち5m)
重油の漂流・漂着状況	沈没地点付近 新たな油の漂き出しが続く。 ・高浜原発 ・少量の重油が伊予・九州を越えて取水路に流入。 ・高浜町東三松など ・新たに重油が漂着。 ・大坂町赤磯崎 ・大量の重油が漂着。 ・小浜市四津、下加斗 ・直後4-5mの重油が約1kmに渡り漂着。 ・美浜町日向 ・重油が漂着。 ・常神半島、敦賀半島沖 ・油塊や油膜が漂流。東進。	常神半島沖、敦賀半島立石崎の北約3km ・油塊が接近。 ・小浜市鈴鹿門沖2km ・油塊が点状。 ・三田町ササビ、子、重島坊 ・再び重油が漂着。 ・福井市鹿島海岸 ・伊予・九州が打ち上げられる。 ・小松市など ・海岸に重油が漂着。 ・珠洲市樺崎沖 ・重油が1日3kmの速度で分散しながら南東に進み、富山湾、新潟県に向かう。	丹後半島に重油が大量に漂着。 ・小浜市田島大浜海岸 ・直径10-20cmの油塊が多数漂着。 ・美浜町竹波～日向 ・重油が漂着。 ・敦賀半島白木海岸 ・重油が漂着。 ・船首周辺 ・新たな重油の塊や帯が漂流。 ・福井市鹿島～鮎川 ・重油が漂着。	能登半島、新湊、果能生町佐渡島を結ぶ海域を中心に点状。東進。 ・新潟県南西部 ・重油が接近。 ・佐渡島南端小大町 ・約200mに渡り直径3-4cm、最大10cmの重油が漂着。	能登半島、新湊、果能生町佐渡島を結ぶ海域を中心に点状。東進。 ・新潟県南西部 ・重油が接近。 ・佐渡島南端小大町 ・約200mに渡り直径3-4cm、最大10cmの重油が漂着。	能登半島、新湊、果能生町佐渡島を結ぶ海域を中心に点状。東進。 ・新潟県南西部 ・重油が接近。 ・佐渡島南端小大町 ・約200mに渡り直径3-4cm、最大10cmの重油が漂着。	能登半島、新湊、果能生町佐渡島を結ぶ海域を中心に点状。東進。 ・新潟県南西部 ・重油が接近。 ・佐渡島南端小大町 ・約200mに渡り直径3-4cm、最大10cmの重油が漂着。



## 『ナホトカ』号重油流出事故発生から6か月間の記録

	1. 16	1. 17	1. 18	1. 19	1. 20	1. 21	1. 22
	船首から重油抜き取り作業中断	重油抜き取り作業中断					
重油抜き取り	船首底部に穴をあけ、夕方から夜を徹して重油の抜き取りを開始(海上災害防止センター指揮)。仮設道路工事も24時間態勢で進む。	荒天に備え抜き取り作業が午後から中断(700t和ワット回収)。仮設道路造成進む(90m)。	荒天のため重油抜き取り作業できず。仮設道路造成進む(陸上部分)。	重油抜き取り作業できず。油回収用ポンプが韓国より到着。作業船に取り付け。仮設道路海岸から10mに。	重油抜き取り作業できず。仮設道路は海上部分約60mまで敷設が進む。船体からの漏れ油を拡散。調査船が沈没船体を調査。	重油抜き取り作業できず。仮設道路工事は着工以来初めて中断。24時間態勢で船首を監視。	荒天のため船首部が陸側へ約13m移動。仮設道路が15m流出。重油抜き取り作業と仮設道路工事は中止。準備作業のみ。
重油の回収など	大飯町、高浜町、小浜市、美浜町で重油回収。常神半島沖、敦賀半島沖でも漏船が重油回収。重油回収量3283.1t和ワット。	三国、芦原、越前、大飯町、越前村や横南6市町村で重油回収。雄島漁港で油回収のため消波ブロックを移動。青森からの油回収船「第三たかほこ丸」が横井港に到着。07から派遣の救助船「スリット」も能登半島沖に到着。重油回収量3726.1t和ワット。	海岸での重油回収できず。陸上自衛隊のみ回収作業(三国町)。横南一帯の漁船での回収作業も午後から中止。海上での回収は、自衛隊・保安庁の船のみ。能登半島東部で漁獲船などが重油を回収。難航。油回収船「第三たかほこ丸」が横井港に到着。重油回収量3778.2t和ワット。	船体沈没付近の海底状況調査のため、測量船出港(海上保安庁)。小浜市、敦賀市、越前村、福井市で重油回収。三国町、網野町三港の海岸、能登半島東部沖で重油回収。07の油回収船が珠洲市沖に到着。重油回収量4153.6t和ワット。	海岸での重油回収作業再開(三国町)。福井市、能登半島沖でも回収。新潟県沖中に船を派遣。三方町海岸の養殖いけす周辺でワケマス漂着の重油回収。美浜原でワケマスに漂着の重油回収。重油回収量4822.9t和ワット。	海岸での重油回収できず(三国町)。若狭湾沿岸でも回収作業断念。越前町、河野村で重油回収。荒天のため午後から中止。回収重油、海上災害防止センターの委託を受け、広島で処理(これまでに144.6トン)。	油回収作業できず。コクリトポンプ車でのみ回収(三国町)。敦賀市「もんじゅ」付近の白木海岸で重油回収。上越市で午後から回収。荒天のため新潟県のほとんどで回収作業中止。28日まで回収作業休止(さうりけ本部)。
福井県・市町村など	越前町、大飯町漁協が試験操業。などに影響なし。政府が前面に立ち処理するよう要望(8府県漁連)。	知事が安島の現場を視察。敦賀港に到着の重油一時貯蔵じが完成。融資制度について事務的な準備進む。浮遊重油の把握、監視などの強化のため衛星による面像伝達が行われる。三国町3漁協と同調観光協会が知事に陳情。	「災害対策本部」設置(福井市、美浜町)。ぼうりけ受け付け開設(小浜市、美浜町)。	「災害対策本部」設置(福井市、美浜町)。ぼうりけ受け付け開設(小浜市、美浜町)。	船首回収の早急な固定を海上災害防止センターに要請。事故対策の長期化に備え、対策本部を組織再編(福井県)。	「災害対策本部」設置(河野村)。事故対策の長期化に備え、対策本部を組織再編(三国町)。	「災害対策本部」設置(高浜町)。7/17-18福井に3つ目の重油一時保管用タンクを増設。高校生などの回収などのぼうりけは学校派遣なら出席扱い(福井県教委)。
他県		富山県が「対策本部」設置。回収態勢を整える。新潟県柏崎刈羽原発でワケマス敷設。警戒される。政府が関係関係会議設置を決定。補償・重油汚染対策・事故原因調査などを協議。	新潟県が「対策本部」設置。佐渡島海岸部で監視態勢強化。資材確保。		回収機材を積んだ作業船が港に待機(富山県)。	被害のあった8府県議会が事故の「災害」認定を求め政府などに陳情。	近畿首脳会議で副知事が補償外交を国が責任を持つよう要望。
政府		運輸相が三国町に2度目の視察。	文化庁が東尋坊周辺を現地調査。名勝指定外さず。		災害対策関係会議初会合。自治体は仮負担の資材費など援助の方針を示す(自治相)。	与党3党首会談で首相が初動対応の進め方を認める。07運輸省当局者が来日。農水大臣が三国を視察。	運輸省が事故原因究明のため特別調査委員会設置決定。衆院本会議で首相が対応の進め方を認める。
その他	重油がワケマスを超えて取水路に流入。すべて回収(大飯原勢)。「ワケマス」に過失がない場合の保険限度額は2億6千万円。	日本海沿岸地帯新興連盟が各県庁に油回収や保証支援などを緊急に要望。三国町が観光への影響を調査。	福井県労働金庫、JAG「ム」で重油回収機材の男性急死(兵庫県)。首都圏の物産展などで水産物の安全をPR(福井県)。	ワケマスを3重にし、警戒(敦賀の高速増速炉「もんじゅ」)。	ワケマスを3重にし、警戒(敦賀原発「ふげん」)。美浜原発は2重に増設。NTTが東尋坊に携帯・自動重電設置時基地局を開設(福井県が要請)。	重油がワケマスを越えて取水路に接近。取水量を減少。敦賀市「もんじゅ」。	風評被害深刻。宿泊や地相次ぐ(小浜氏観光協会)。07側の事故原因報道批判。全労連が政府対策本部に流出重油の除去、補償などを申し入れ。
環境への影響	芦原町海岸で貝が大量死。連年のワケマス法での緊急な調査を要請。福井県が環境保全チームを設置。	環境庁と8府県が会合、共通のワケマス法での緊急な調査を要請。福井県が環境保全チームを設置。			「汚染水漏れ」福井の会が補償金受け入れ窓口開設。三国町安島区住民やぼうりけを対象に、聞き取りによる健康調査開始(金津保健所)。	重油の汚染物質の健康への影響調査を三国町安島で再び実施(福井県)。	



天 気	1. 23	1. 24	1. 25	1. 26	1. 27	1. 28	1. 29
大陸の高気圧の一部が四国沖に中心を移し、西日本を縦やかに覆う。北陸上空の強い寒気は東に去るが、弱い気圧の谷が日本海に南下。北陸地方に近づくと、低気圧が進む。	気圧の谷が日本海から北日本を通過後、大陸の高気圧が張り出す。本州の南海上に前線がのび、前線下を低気圧が進む。	本州の南海上を進んだ低気圧が発達しながら三陸沖から東へ進まざる。	冬の気圧配置。上空の強い寒気は東へ抜け、日本海西部に気圧の谷が進み、夜には北陸に近づくと、低気圧が南下。	北陸上空に再び寒気が入り込み冬の気圧配置が定まる。北陸上空に-35度の寒気が南下。	北陸上空に再び寒気が入り込み冬の気圧配置が定まる。北陸上空に-35度の寒気が南下。	北陸上空に再び寒気が入り込み冬の気圧配置が定まる。北陸上空に-35度の寒気が南下。	低気圧が北海道に進み日本付近は西から冬の寒気配置が定まる。北陸上空に-35度の寒気が南下。
風	(北のち南西)	(南西のち北東)	(北東のち北、強い)	(北西のち北、強い) 20m/s	(南のち北西)	(西、強い)	(西のち北西、強い) 15m/s
波	(5mのち3m)	(2.5mのち3m)	(4mのち3m)	(3m) 4m-6m	(3mのち2m)	(2mのち3m)	(4m) 7mのうねり
重油の漂流・漂着状況	・沈没地点周辺 重油の沸き出し続く。 ・高松湾、小浜湾内に重油入り込む。 ・三方町世々島に大量の油塊漂流。沖合にも油塊漂流。 ・岐阜半島内に浮遊重油流入。 ・岐阜半島を囲むように重油が打ち寄せる。 ・岐阜原産、"ふげん"発電所、"カワカ"に小さな油塊漂流。 ・三國町～岐阜市東浦地区の至る所に重油が漂着。 ・船首付近に幅10-50mの油の帯が北へ5km西へ2.5km。	・沈没地点周辺 重油の沸き出し続く。 ・岐阜半島内に浮遊重油流入。 ・岐阜半島を囲むように重油が打ち寄せる。 ・岐阜市東浦地区五ヶ所、直径数cm-数十cmの油塊が打ち寄せる。	・沈没地点周辺 重油の沸き出し続く。 ・岐阜半島内に浮遊重油流入。 ・岐阜半島を囲むように重油の帯が漂着。 ・岐阜市東浦地区五ヶ所、直径数cm-数十cmの油塊が打ち寄せる。	・三國町安島 仮設道路の東200m海域に重油漂着。北西方向に幅約20m、長さ1.5kmの帯状の油膜がのびる。	・三國町安島 仮設道路の東200m海域に重油漂着。北西方向に幅約20m、長さ1.5kmの帯状の油膜がのびる。	・三國町安島 仮設道路の東200m海域に重油漂着。北西方向に幅約20m、長さ1.5kmの帯状の油膜がのびる。	・三國町安島 仮設道路の東200m海域に重油漂着。北西方向に幅約20m、長さ1.5kmの帯状の油膜がのびる。
重油回収	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。	・重油抜き取り作業中止。 ・船首部分が陸側に約13m移動。 ・仮設道路20m流失。午後から工事再開。 ・岐阜市東浦、岐阜半島先端で重油回収作業。三國町では海岸での回収作業中止。回収重油の搬送、バキューム車のみ回収。 ・海上災害防止センターが地元へ連絡せず沿岸で処理散布。 ・回収油、広島へ海上輸送。 ・重油回収量5770.7tと判明。
政 府	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。	・自民党が重油流出事故緊急対策本部で助成など協議。国土庁が「災害」認定。法による助成は困難。
そ の 他	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。	・関係8通達で水産庁などに漁業補償などを要望。 ・小中学生の学校派遣のボランティアは出席扱い(福井県教委)。 ・環境庁、水産庁、建設庁、科技庁が海の生態系の調査を決める。



[illegible]



	2.6	2.7	2.8	2.9	2.10	2.11	2.12
天 気	本州付近を覆やかに覆っていた低気圧が東海上へ抜け、低気圧が日本海と本州の南海上を進む。冬型の気圧配置がゆるむ。	冬型の気圧配置が弱く、上空の寒気は東海上へ抜け、等圧線の間隔も西から開いて、冬型の気圧配置がゆるむ。	北日本中心の弱い冬型の気圧配置。日本海北部と九州南海上に低気圧が東に進み、日本付近は弱い気圧の谷に	本州の南海上を進む低気圧が東海上に遠ざかる。大陸の高気圧が緩やかに本州付近を覆う。	...	前線を伴った低気圧が、能登半島沖から北日本を通過。	北低気圧が日本の東海上へ遠ざかり、大陸の高気圧が日本付近に張り出す。北陸の上空に強い寒気が入り、一時的に冬型の気圧配置が強まる。
風	(南のち北西、やや強い)	(北のち北東)	(南東のち北)	(北東)	(南のち西)	(南のち西、強い)18m/s	(北)10m/s
波	(2m)	(2.5mのち2m)3mのうねり	(1.5mのち1m)	(1mm)	(0.5mのち1m)	(2.5mのち3m)3mのうねり	(4mのち2.5m)
重油の漂流状況	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。縦約1km、横約1.6kmの海域に重油が広がる。	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。	・隠岐島の北東142.6km 重油の漂き出し続く。甲板にあるふたから漏れ出し、5.5km渡り南、東にのびる。	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。長さ2.6kmの重油の帯が南東方向に広がる。 ・船首周辺 東に延びる幅10m、長さ200mの薄い油の筋を数本確認(岩場から洗い出された?)	
重油回収	船首部分からの重油抜き取り作業再開 ・重油約400t回収 ・仮設道路155mに、仮設道路から重油を抜き取るためのクレーン組立開始 ・回収重油の後送開始。数貨港で1200缶積み込み。 ・重油回収量13083.2t回収 ・福井県が回収量とめる(5日現在)。数貨市3175.6、三国町2428.5、美浜町2383.4、三方町1117.5t回収 ・関係9府県知事が連名で給主に補償などを求め7月7日交付。 ・政府が関係府県、漁業団体、旅行業関係者などに対し、運輸省で補償問題に関する説明会。 ・福井県商工団体連合会が新たな緊急融資などを要請。 ・水産資源への重油の影響調査のため、国と漁業府県が連絡協議会初会合。 ・重油回収・処理などの1か月分の経費は、福井県5-6億円、県内市町村8-10億円と推計(福井県補償対策「07-エフ」)。 ・国から福井県に緊急薬品、県内17ヶ所に配布。 ・下関市長が数貨市訪問。義援金や支援物資を贈る。 ・長野県伊那市有志らが金貨などを贈る。	重油抜き取り作業中断 ・仮設道路165mに、クレーン組立はほぼ終了。ホース取り付けなど準備。 ・小浜市で重油回収。 ・沈没海域に向け、深海調査機搭載の「なつしま」舞鶴港を出发。 ・重油回収量13292.7t回収 ・9府県の補償担当者会議で国際油濁補償基金代理人が説明。被害推定額は160-170億円。 ・全漁連、福井・石川など1府7県の漁連が油流出事故漁業被害対策協議会開催。 ・補償交渉の窓口一本化を決める。 ・政府が沈没船体部の処理策をまとめる検討委員会発足。 ・運輸省の原因調査委員会の調査が三国町での現地調査を決定。 ・福井市会など6議会が政府への災害対策に関する意見書提出。 ・三国町などへの「07-エフ」送迎バス無料運行5日増やす。 ・三国町で「07-エフ」に「ナビス」(三国港機船底曳網漁協)。	重油抜き取り作業再開 ・夕までに約240t回収 ・仮設道路170mに。 ・海上保安本部は小浜市、数貨市の沖合で重油回収。 ・太田町を除く11市町村で重油を回収。 ・07-7の油回収船帰国。	重油抜き取り作業続く。 ・重油回収量14163.7t回収	船首部分からの重油抜き取り作業完了 ・船首部分からの回収重油は3日間で1341t回収、総計2450t回収。 ・仮設道路175mに到達。大型クレーンを1台走行。 ・科学技術庁・海洋科学技術センターが無人深海探査機「17123K」で沈没船体の潜水調査。「17123K」号の船名水調査。重油を採取。 ・福井県内で6市町村が重油回収。砂浜の油塊分離(京都府網野町)。 ・重油回収量14303.4t回収 ・国際油濁補償基金が仮設道路分の補償認めます。「国」が責任を。 ・運輸相が7月7日事故原因究明の日露合同専門家会合。日本側が船首引き上げ、07-7が解析などに参加。 ・福井県防災会議が緊急の会合開催。地域防災計画改定を決める。 ・「油流出事故環境影響評価適合検討会」初会合(環境庁)。 ・社民党党首が三国町の現場を視察。	・前天のため海上での作業ができず、重油回収も午前中でうち切り(三国町)。 ・陸上からの重油抜き取り準備。 ・三国町で3日間重油回収作業など休止。 ・重油回収量14368t回収。	・1月分の回収経費は8億3000万円。緊急に支払いが必要な5億3000万円分を財政調整基金から取り出し(福井県)。 ・風評被害防止「07-エフ」緊急対策連絡会設置(福井県)。 ・環境保全対策「07-エフ」が調査内容とりまとめ。水質など汚染状況を調査。



天 気	2.13	2.14	2.15	2.16	2.17	2.18	2.19
	西高東低の冬型の気圧配置が続き、北陸上空に寒気が居座る。西日本方面から次第に等圧線の間隔が広がる。	大陸の高気圧の一部が移動し、性となって広く本州付近を覆う。午後北日本を気圧の谷が通過。	前線を伴った低気圧が真海を発達しながら東に進む。日本付近は西から深い気圧の谷に入る。	前線を伴った低気圧が急遽に発達しながら本州南岸を真正に進む。	大陸の高気圧が日本付近に張り出し、冬型の気圧配置。上空の寒気は比較的に弱い。	冬型の気圧配置続く。午後から夜にかけて日本海上空にかなり強い寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まる。	北陸の上空に南下した強い寒気は一時的で、東に抜ける。
風	(北)	(南のち北)	(南のち南東、やや強い)	(南のち北西) 7m/s	(北西のち北)	(北東のち西、やや強い)	(北のち西、やや強い)
波	(3mのち2m)	(2m)	(1.5mのち2m)	(1mのち4m) 1mのうねり	(4mのち3m)	(3mのち2.5m) 3mのうねり	(3mのち2.5m) 3mのうねり
油の漂流状況	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。 ・若狭湾内3ヶ所 重油の塊確認。	・沈没地点周辺 重油の漂き出し続く。 南に2.5kmの帯状に広がる。		・沈没地点周辺 浮遊油ほとんど見えなくなり。 ・三国町浜地海岸、ササトヒ子など 新たに重油漂着。	・敦賀半島立石岬沿岸 油群が漂流。	・芦原町浜坂海岸など3km 新たに無数の直径3-5cmの 油玉が漂着。付近の海上 には浮遊油確認されず。	・福井市白方町から浜住町の 砂浜約4.7km 直径1-5cmの油玉が漂着。
重油回収など	・船首部カク内の残存重油回収準備終了。 ・自衛隊作業が終了。三国、福井、敦賀、美浜から作業終了の確認書を受け取る。	・船首部カク内に付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。	・船首部カク内付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。	・船首部カク内付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。	・船首部カク内付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。	・船首部カク内付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。	・船首部カク内付着の残油、仮設道路に大型クレーンを設置し、8tクレーン回収。 ・福井県重油回収技術対策連絡会が、三国町で高圧洗浄機などで岩場の付着油を洗浄・回収試験。 ・自治省が各自治体の被害をまとめる。1日現在で回収量などの総額約70億円。 ・政府が回収作業後に死亡の5人に褒賞を送る(表彰状と褒賞金100万円)。 ・兵庫県が回収作業後死亡の遺族に見舞金贈る。 ・運輸省事故調査委員会が船首部分の具体的な調査内容を決定。077に打診。 ・船主から各府県知事宛に77が返す。 ・関係6府県連絡会議で要望をまとめる。
補償関係	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」	・官房長官、補償問題で災害対策基本法の改正を含め検討。 ・運輸相が「補償要求窓口を国が一本化するのには困難」
その他	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。	・自民党幹事長、重油流出の最終報告を後援。全国都道府県議会連合会に返答。 ・環境庁が重油に有害物質なしと発表。



	2. 20	2. 21	2. 22	2. 23	2. 24	2. 25	2. 26
天 気	発達した低気圧が伊予-九州海をゆるくつくり遠ざかり、移動性に変わった高気圧が南に偏りながら本州付近を覆う。	低気圧が発達しながら津軽海峡から北海道の東に離れ、中心から延びる寒冷前線が午前中に北陸地方に南下。	...	発達した低気圧が千島の東海上に過ぎるが、北日本は冬型の気圧配置が続き、大陸の高気圧が移動性となり西日本を中心に移し、本州南部を広く覆う。	日本海から本州の南海上を移動する高気圧が日本付近を覆い冬型が確むが、高気圧の西側から南北に延びる気圧の谷が近づく。	前線を伴った低気圧が東海や樺太付近に進み、西から気圧の谷に入る。	気圧の谷が日本の東海上へ抜け、高気圧が日本付近を覆う。
風	(南西、強い)12m/s	(南西のち北西、強い)	(北西のち北、やや強い)	(北のち南)	(南のち北)	(南)	(北西のち北東)
波	(3m) 3mのうねり	(4m)のち5m	(5m)のち4m	(3m)のち2m	(1.5m)	(2.5m)	(3m)のち2.5m
重油の漂流状況	・敦賀市立石岬など若狭湾東部の4ヶ所 ・海軍に付着した重油少量発見。			・沈没船体のマンホールから飯状に油が流出。9番タック上のパイプラインが破損、黒出油がべったり。4番タックで新たな亀裂から油が漏出。	・三国町安島 重油漂着続く。		
重油回収など	・船首タック内の残存重油回収できず。 ・海岸で重油回収(三国町)。 ・沈没船体に新たに亀裂のあったタックを確認。発生当時の流出量は約6240リットルと発表(保安庁)。 ・重油回収作業などのが「イ・ライ」を沿岸12市町村に配布(福井県)。	・船首タック内の残存重油回収できず。海岸での重油回収作業も中止(三国町)。 ・取作業も中止(三国町、芦原町)。 ・仮設道路先端部15mが流失。復旧作業も中止。	・船首タック内の残存重油回収できず。海岸での重油回収作業も中止(三国町、芦原町)。 ・仮設道路先端部15mが流失。復旧作業も中止。	・仮設道路の復旧工事、夜までに完了。 ・福井市自治会連合会が呼びかけ、市民5000人が復興、鮎川海水浴場で一斉回収作業。福井県内9市町村でも回収作業。 ・沈没船体に潜航調査。新たな重油漏出を確認。残存重油は約1万リットル。	・船首部タック内付着の残油回収作業再開。 ・第八管区保安本部が海上自衛隊への派遣要請解除。海上自衛隊艦艇すべて撤収。	・船首部からの残油抜き取り完了 ・227リットルを回収。総量約2831リットル。海上災害防災センターが作業終了を発表。	・三国町、漁協、観光関係者らが災害復旧事業に対する財政支援(約7億4000万円)を県に陳情。 ・市庁運輸省専門官が三国町で船首部の視察。 ・福井県議会が重油事故対策のため「災害対策特別委員会」設置。意見書を可決。国などに提出。 ・小浜市加斗の養島で文化庁調査官らが重油漂着の状況調査。重油漂着なく植物群への影響なし。 ・環境庁らが1月中旬に実施の環境調査の中間結果報告。三国町などで微量の発がん物質検出。 ・ボラティの受け入れ中止(福井市)。 ・三国町が陸上自衛隊に感謝状。
補償関係その他	・補償金のうち6000万円を漁協や観光関係団体などに災害見舞金として支給する方針決定(三国町)。 ・補償金の受付28日で打ち切り(福井新聞社)。 ・補償金から5000万円を災害見舞金に、1000万円を観光・漁業のイ・リ回復の重伝に充ててことを可決(三国町会)。 ・国会で運輸相が「平成10年度予算で何らかの予算要求。補償交渉に国が支援」。	・風評被害対策、再発防止などを求める要望書を三国町議会に要望(三国町3漁協)。 ・福井県環境審議会で大規模災害時の対策について報告。大気・油分ともに基準値を下回る。 ・美浜町でボラティの受け入れ24日から中止。三国町では続行。	・芦原町でシンポジウム開催。 ・菅民主体代表が三国町の現場を視察。知事・県議会議員らが要望や支援求める。	・日本海沿岸の14の国公立大学、高専の関係者約60人が共同研究チームを結成。 ・三国町民らが船首を保存、記念館建設を目標に保存する会を結成。	・補償交渉を弁護士に委任。関係府県や県内12市町村にも共同で委任するよう呼びかけ(福井県)。 ・共産党福井県委員会、関係市長の議員などが運輸省で政府に申し入れ。「交渉窓口の一本化は不可能」。 ・福井県水産試験場が三国町安島で動植物の潜水調査。重油の沈殿や生物の大量死など見られず(県内15ヶ所で調査予定)。 ・重油事故で延期の献上が二を調理。25日に豊上へ。 ・重油事故伝える船首を残そうと地元住民ら署名開始。	・来日中の市庁運輸省専門官が運輸省と会合。「イ・リ」船体の破断部の映像をもとに意見交換。 ・政府が全体の油回収費用約40億円の半分以上を国が支援。 ・運輸省事故調査委員会が三国町内に現地事務所設置。 ・三国町が陸上自衛隊に感謝状。	・三国町、漁協、観光関係者らが災害復旧事業に対する財政支援(約7億4000万円)を県に陳情。 ・市庁運輸省専門官が三国町で船首部の視察。 ・福井県議会が重油事故対策のため「災害対策特別委員会」設置。意見書を可決。国などに提出。 ・小浜市加斗の養島で文化庁調査官らが重油漂着の状況調査。重油漂着なく植物群への影響なし。 ・環境庁らが1月中旬に実施の環境調査の中間結果報告。三国町などで微量の発がん物質検出。 ・ボラティの受け入れ中止(福井市)。 ・三国町が陸上自衛隊に感謝状。

2. 27	2. 28	3. 1	3. 2	3. 3	3. 4	3. 5
漂流・漂着状況			<p>・沈没地点 重油湧出続く。 ・大飯町大島半島、鯉崎西側 7kmと美浜町常神半島東部 重油が残るが、陸から近 寄れず手つかずのまま。</p>			
重油回収状況など	<p>【福井県内各地の回収状況】 ・福井市・芦原町「人目に付 き人が入れるところにはほ ぼ回収済み」 ・大飯町・高浜町「再漂着有 り、その都度回収し、全 体的には回収済み」 ・三国町「自衛隊が撤収、美 浜町「常神半島東側の 岩場で油が点在」 ・小浜市「各地で油が付い た海岸あり」 (福井県対策本部) ・回収重油のうち75.2%を焼 却のため県内外に搬出(福 井県)。</p>	<p>・対策本部の規模を縮小、 小浜港の現地対策本部撤 去。美浜町受け入れと海 岸線が10-4を中止(小浜 市)。</p>	<p>・巡視船艇18隻を動員。沈 没地点に2隻が監視(海上 保安本部)。 ・石川県輪島市で重油回収 作業再開。</p>	<p>・三国町災害対策本部が今 後の回収作業について協 議。岩場の作業が9日まで、 砂浜の作業が3月末までで 美浜町の受け入れを終了 する方針。その後は地元 民で定期的に作業。</p>	<p>・船首部分撤去のための事 前調査開始。 ・福井県沿岸12市町村で、 回収態勢など縮小、省力 化へ。</p>	<p>・5日までに県外処理業者に 搬出された回収重油は 12846kg、搬出率は78.4 %(福井県)。</p>
補償関係・その他	<p>・67運輸省専門家が現場を視 察、海上保安庁現地対策本部 で協議交わす。 ・環境庁が三国町で検討委員会。 3月から潜水、生態調査実施な どを決定。</p>	<p>・地元の要望に応え、福井 県知事が三国町海岸部の 玉石の取り替えなど前向 きを検討を指示。 ・商業者・漁業者向けの福井 県の緊急融資は2月までに で103件、13億円超える。</p>	<p>・散貨商工会議所が京都、神 戸で観光PR。海産物など 配布。</p>	<p>・福井県と県内沿岸12市町 村の油防除・回収などの成 急経費は、(3月末までの 見込みで)約34億円。観光 や風評被害対策経費など を含めると約40億円(福井 県)。 ・重油被害があった家庭の 県立高校生の授業料免除 の方針固める(福井県教育 委員会)。 ・重油回収作業中に死亡し た男性の遺族が労災を申 請。</p>	<p>・福井県が2補正予算案で重 油汚染事故対策に約72億 4000万円計上と発表。予 備費・専決処分などを合わ せ総額約83億3000万円に。 [重油事故対策関係予算] 災害対策本部など 337699 環境保全技術対策 10570 金融支援 430933 観光・風評被害対策 25281 海洋環境回復 27960 その他 670 合計 833113 (万円) 国からの歳入見込みは 13980万円。 ・重油事故被害状況のビデオ 制作(福井県)。 ・石川県と補償交渉代理人 との打合せ開催。 ・「三国に船首を残す会」 発足。講演・討論会開く。</p>	<p>・福井県・県内沿岸12市町村 と補償交渉代理人との打合 会開催。3月末までに第1回 暫定請求。 ・福井県会で知事が、外洋対 応可能な油回収船の配備を 国に要請の考えを示す。 [福井県内の重油回収量] 敦賀市 4144kg 美浜町 3502kg 三国町 2486kg 総回収量 10383kg [福井県内の回収作業人数] 三国町 41419人 福井市 25878人 美浜町 22788人 敦賀市 19358人 合計 145693人 [福井県内で保護の海鳥] 生体 72羽 死体 98羽 [水鳥保護のための養護金] 7064354円 (5日現在)</p>



3.6	3.7	3.8	3.9	3.10	3.11	3.12
重油漂流・漂着状況	・沈没地点 重油漂出続く。 ・三國町米ヶ崎、敦賀市杉津から 相浜、美浜町丹生西海岸 陸から行けない岩場などに重 油残る。 ・三國町ワカビ・子、福井市鷹巣・ 船川・南宮生・松煙、敦賀市・常 神半島、大飯半島の砂浜 細かい油の粒が点在。	・重油回収現場視察の専門 家が、洗剤代わりに使用 される有機溶媒の危険性 などを指摘。	・船首部分の潜水調査天候 不良で中止。	・船首部分の潜水調査天候 不良で中止。 ・沈没船体の残存重油は約 9961kgと推定(福井 県)。	・三方町意見に「ワカビ・子」 建設構想を発表。水鳥の 洗浄・治療態勢も整備 (福井県)。 ・災害対策特別委員会初会 合。補償、賠償撤去など審 議(福井県)。 ・福井県知事が随上自衛隊に 感謝状。	
主な動き	・全国経済同友会などで重 油汚染事故に対し国の危 機管理確立を求める要望 書提出を決める。 ・重油流出事故対策費などを含 む予算案可決。災害対策特別 委員会委員16人を選出(福井県 議会)。 ・義援金は5日現在で約3473万 円。(福井市議会) ・重油対策費など可決(小浜市議 会)。					
油漂着・回収状況	3.14 ・船首周辺の消波ブロック洗浄 へ撤出準備開始(三國町) ・三國町安曇の岩場で処理 剤を使い洗浄実験(海上災 害防止センター)。	3.15 ・三國町浜地、ワカビ・子 砂浜に豆粒大の重油塊。 ・福井市、敦賀市、国見地区 の住民による一斉ごみ回 収作業。 ・16日までに搬出された回 収重油は15108kgと推定、搬 出率91.1%(福井県)。	3.16	3.17	3.18	3.19
主な動き	・国際油濁補償基金事務局長が、 福井・石川県を視察。代理人と 会議。「一部の損害賠償は2週 間後に始めたい」と前向き発 言。 ・要望を受け、自民党事故対策 緊急本部小委員会が油回収費、 被害者など作成。これを基に 財政支援措置を検討。	・運輸省事故調査委員会の 船首部分潜水調査は荒天 のため中止。 ・三國町でようほう灯不足が深 刻化。			運輸省事故調査委員会 が船首部分に潜水調査 外板採取、写真撮影など。 4月末にも中間報告。 ・重油対策費約2億円が補正 予算案に追加上程、可決 (三國町議会)。 ・福井県観光連盟が大阪・名 古屋市で観光キャンペーン。 ・水鳥救援義援金約900万円 の使途決まる。	

	3. 20	3. 21	3. 22	3. 23	3. 24	3. 25	3. 26
油回収状況など	・三國町民総ぐるみで砂浜の油回収作業。各地区が交代で休日に回収作業を行う予定。	・船首周辺の消波ブロックが洗浄へ搬出準備開始(三國町)。 ・三國町安島の岩場で処理剤を使い洗浄実験(海上災害防止センター)。	・採取した船首部外板、建造時の半分に。沈没船体の映像を後付。「破断箇所」のもぎ取ったような跡から、大波で船底部に亀裂。上からの大波で破断の可能性高い」とさらに詳しく解析(運輸省事故調査委員会)。	・被害の「終息宣言」に向け各自自治体が動き。 福井県「新潟県、京都府で計4400本の回収重油入りドラム缶が放置。」 ・石川県加賀市海岸などで油粒の回収作業続く。	・福井県の重油回収総量は、県内の海で回収・港に陸揚げした回収量を含め24日現在で17835.9キロリットル。 ・県内外に搬出された回収重油は15637.2キロリットル、搬出率は87.7%(福井県)。	・沈没地点付近 幅20~150m、長さ980mの油の帯が東北東の方向に伸びる。	・沈没地点付近 1日に計3~15キロリットル漏出と推定。 ・砂浜の砂を重機で押しだし、海水で洗浄開始(三國町)。
主 な 動 き	・深原町、深原温泉観光協会が重油回収の兵庫島の3高校に米などを贈る。	・約2億円の賠償金のうち5000万円を漁協など町内18団体に奨励金として配分。1000万円を観光やイベントに(三國町)。	・約2億円の賠償金のうち5000万円を漁協など町内18団体に奨励金として配分。1000万円を観光やイベントに(三國町)。	・被害の「終息宣言」に向 け各自自治体が動き。 福井県「新潟県、京都府で計4400本の回収重油入りドラム缶が放置。」 ・石川県加賀市海岸などで油粒の回収作業続く。	・重油回収総額2億9000万円を可決。海底の潜水調査、4月実施に向け準備(敦賀市)。 ・運輸省が回収費の半分を補助する「災害応急対策交付金」の1996年度交付金額は、福井県約1億1817万、県内日本海沿岸12市町村合計約4億3818万円。	・9府県の経済同友会が日本海沿岸の危機管理体制の確立を政府関係機関に要望。 ・回収作業の「終息宣言」4月下旬に出す方針固める。知事が後付を指示(福井県)。 ・環境保全対策「DJEI」から葛浜町までの30地点での水質と底質調査結果をまとめる。特に異常なし(福井県)。 ・2、3月の環境資源維持調査結果をまとめる。県内20地点でDJEIなど調査。 ・数に変化なし。岩川は商品価値なし(福井県水産試験場)。	・運輸省「林野庁号船尾部分残存油対策検討委員会」が伝言。当面は放置。漏出を定期的に監視。
油 回 収 ・ 主 な 動 き	・小浜市で重油回収作業。 ・福井県内「市町村連絡会議」が会合、知事に復旧対策など要望書提出を決める(28日提出)。合同終息宣言は早送り。 ・福井、石川、富山、新潟の4県が2月末までの重油回収費用などを国際石油環境基金などに一括請求を決める。 ・三方海中公園地区で海洋生物への影響などを潜水調査(三方町)。	・小浜市で重油回収作業。 ・福井県内「市町村連絡会議」が会合、知事に復旧対策など要望書提出を決める(28日提出)。合同終息宣言は早送り。 ・福井、石川、富山、新潟の4県が2月末までの重油回収費用などを国際石油環境基金などに一括請求を決める。 ・三方海中公園地区で海洋生物への影響などを潜水調査(三方町)。	・芦原町で最後の一斉回収。 ・福井県連合青年団が重油被害に対するチャリティコンサート開催(三國町)。	・被害の「終息宣言」に向け各自自治体が動き。 福井県「新潟県、京都府で計4400本の回収重油入りドラム缶が放置。」 ・石川県加賀市海岸などで油粒の回収作業続く。	・福井県の重油回収総額は、県内の海で回収・港に陸揚げした回収量を含め24日現在で17835.9キロリットル。 ・県内外に搬出された回収重油は15637.2キロリットル、搬出率は87.7%(福井県)。	・沈没地点付近 幅20~150m、長さ980mの油の帯が東北東の方向に伸びる。	・沈没地点付近 1日に計3~15キロリットル漏出と推定。 ・砂浜の砂を重機で押しだし、海水で洗浄開始(三國町)。



[illegible]

5.22	・福井、石川県内海水浴場で、砂の補充や砂を押し出し波で洗滌する作業続く。	5.27	・新潟県西山町で海岸約5kmに亘り重油粒などが漂着。沿岸に漂着した油が流れ出し、漂着した可能性あり。	5.29	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.2	・波で自然洗浄した砂を陸側に戻し、整地(福井市鹿島海岸)。	6.5	・ミナソの皮油で重油拭き取り作業(河野村)。	6.9	・仮設道路撤去作業始まる。	6.12	・仮設道路撤去本格化。消波ブロック搬送、捨て石の集積など。	6.13	・仮設道路撤去本格化。消波ブロック搬送、捨て石の集積など。	6.14	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.24	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.26	・砂利を15cm盛る(越前町米ノ海水浴場)。 ・小浜市の海水浴場、三方町では砂を補充。
5.16	・福井工業技術センターが「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.3	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.10	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.11	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.12	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.13	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.14	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.17	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.20	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.23	・河野村海水浴場に砂を補充。
5.18	・福井工業技術センターが「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.3	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.10	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.11	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.12	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.13	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.14	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.17	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.20	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.23	・河野村海水浴場に砂を補充。
5.20	・「福井県漁業被害回復センター」の7割が5月上旬に国際漁業補償基金から支払われ、約6割を各漁協に分配」と県漁業総会で報告。	5.22	・1-3月の人件費、3月分の回収費など第一次請求の追加分は、福井県が8億4400万円、県内市町村が7億1700万円。23日に国際漁業補償基金に請求。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.17	・大野市の七間瀬市に、三國町から海産物出店。	5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.3	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.10	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.11	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.12	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.13	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.14	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.17	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.20	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.23	・河野村海水浴場に砂を補充。
5.19	・大野市の七間瀬市に、三國町から海産物出店。	5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.3	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.10	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.11	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.12	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.13	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.14	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.17	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.20	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.23	・河野村海水浴場に砂を補充。
5.20	・「福井県漁業被害回復センター」の7割が5月上旬に国際漁業補償基金から支払われ、約6割を各漁協に分配」と県漁業総会で報告。	5.22	・1-3月の人件費、3月分の回収費など第一次請求の追加分は、福井県が8億4400万円、県内市町村が7億1700万円。23日に国際漁業補償基金に請求。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.21	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.3	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.10	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.11	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.12	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.13	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.14	・仮設道路撤去準備として、水の中7/4mを張る。	6.17	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.20	・河野村海水浴場に砂を補充。	6.23	・河野村海水浴場に砂を補充。
5.22	・1-3月の人件費、3月分の回収費など第一次請求の追加分は、福井県が8億4400万円、県内市町村が7億1700万円。23日に国際漁業補償基金に請求。	5.22	・1-3月の人件費、3月分の回収費など第一次請求の追加分は、福井県が8億4400万円、県内市町村が7億1700万円。23日に国際漁業補償基金に請求。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.23	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.23	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.24	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.24	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.25	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.25	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.26	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.26	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.27	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.27	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.28	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.28	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.29	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.29	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.30	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.30	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.31	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.31	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.32	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.32	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.33	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.33	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.34	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.34	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.35	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.35	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.36	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.36	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.37	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.37	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.38	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.38	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.39	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.39	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.40	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.40	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.41	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.41	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.42	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.42	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.43	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.43	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4	・仮設道路撤去費用も国際漁業補償基金に請求。油回収船の日本海側への配備検討(美濃町運輸委員会)。	6.11	・石川県と県内14市町村が3月末までの重油対策費約7億8700万円を国際漁業補償基金に請求。	6.13	・福井県商工会連合会が国際漁業補償基金に請求した額は約14億1000万円。	6.14	・水上バウ全日本選手権三回大会開催。	6.18	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.20	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.23	・運輸省が流出油防除対策固める。日本海側を重点的に外洋防除体制強化。回収装置、回収費用の整備など検討。	6.27	・環境庁が海水浴場の水質調査。日本海側48ヶ所で油流出事故の影響を調べる。		
5.44	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	5.44	・「被害回復センター」初会合。仮設道路撤去などの取り組みについて報告。	6.4																	